

# 2023 Japan National Team Report ”国代表”



報告者氏名	中田奈津子
大会名	2023 アジアオセアニア選手権大会
開催地	アラブ首長国連邦・アブダビ
大会期間	10月29日～11月5日

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA 海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA 理事会にて確認の後に、ホームページにて公開します
- 記入時の注意点
  1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
  2. なるべく客観的な立場から、詳細に記入して下さい
  3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
  1. このレポートを補足する資料として必要です（文中に貼り付けて下さい）
  2. 他国OP艇を接近して撮影する際は、必ず相手国の選手、コーチの了解をとって下さい

開催地域の様子	治安は非常に良く。 暑さの為もあり夜行動する人が多い。 飲酒は宗教上禁止されているが煙草の文化は根強い。
宿泊場所	ホテル。セキュリティは充実。 上でも述べた様に煙草文化がある為、禁煙部屋が少なく選手たちも喫煙室をあてがわれた。 次回以降は中東地域での開催時は、禁煙ルームを要望する事も一考かと思います。
大会の対応は	全体的にペースは遅く感じられた。ノビに貼るステッカーが中々張られずフリートレース初日は日本チームと他数チームはスターボー側のみ。2日目からポート側とバウ側が張られた。  着順の間違ひが多く、最終日のレースに関しては10点以上も違ったが閉会式を優先したのが成績変更はされず、現在も保留となっている。
選手たちのコンディションは?	食生活の偏りから体調不良、口内炎等が出来始める選手が後半いた。 アジアチームは人数が多い為、周りのチームメイトに流され普段通りの食事をとらない選手も出始め体調を崩す結果となった。自己管理の一つとして食事の管理も大切である事を事前に伝えておくべきであったと反省。
役員として気をつけたことは?	出艇前の最終チェック。 選手達への挨拶。
海外の選手を見て感じたことは?	主体性 個で動く

日本の選手を見て感じたことは？	女子チームは主体性を持ち取り組んでいる様子だったが、男子チームは主体性が無く誰かと一緒にないと動けない浮き足立った様子だった。恐らく海上でも同じだったと思われる。その為国内レースでのルーティーンが出来ていなかった選手もいたと思われる。
Spare day の過ごし方は？	大会前の予備日は調整し海上練習。 大会終了後の予備日は各々で観光。
日本チームとしての課題	スタート 基本、1度general recall の場合はBlack 掲揚の為、Black でも怖気付かず前から出られる自信が必要。  自信と主体性を持ち行動する。
JODAへの要望	今回のアジアオセアニア選手権へは27カ国が出場。近年のアジアオセアニア選手権の中でも最も参加国が多い大会であり、ワールド出場選手も多数参加していました。その為、他国はアジアオセアニア選手権へ向けた取り組み方が日本とは違うように感じました。日本でもワールドの選手にアジアオセアニア選手権出場機会を与えることを検討し、2大会（ワールド・アジア）出場する選手には補助金を与える等して頂けると門戸が開けてくるのではないのでしょうか。
その他	チームレースのチーム決め。現地にてその場で順立順にチームを決めたが、他の国はチームを決めてきている国もあった。 ただ、前もって決めることでチームから溢れた2人が問題となる。その為、アジアオセアニア選手権の枠を8名にする事も一考かと感じました。  IODAのAnnual General Meetingは会議名の通り年に一回の会議の為、大会以前に別で行われた場合は会議は無いと理解してもよいのでは。今年はワールド（スペイン）で開催された。

ご協力ありがとうございました

JODA海外派遣委員会